



もりのペンダント

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 身近な自然素材のそれぞれの特徴を生かし、創意工夫する喜びを味わうことができます。

【教科への対応】 小学校：図画工作、生活など

2 活動の概要

いろいろな自然物を素材としてオリジナルのペンダントを作ります。

- (1) 人数 160人以内
- (2) 対象 制限なし
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 0.5～1時間（説明5分＋活動25～55分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2、キャンプセンター
- (6) 経費 50円／1作品
- (7) 指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



＜作品例1＞

3 準備物

団 体	救急薬品
個 人	特になし
自然の家	材料：紙皿（中深）、自然物、毛糸、折り紙、スパンコール、色付き球綿 用具：木工用ボンド、直定規（1mか30cm）、はさみ、穴あけパンチ（1穴）、ピンセット、油性ペン、作業板

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

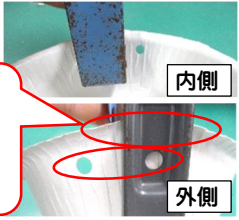


＜作品例2＞



＜作品例3＞

5 活動の流れ

	内 容	
説 明	- 参考作品を提示しながら実演し、作り方について説明 - 用具の使い方と安全について説明	
活 動	① 紙皿一枚と好きな色の毛糸90cm～1mを準備する。 ② 穴あけパンチで紙皿に2カ所、2～3cm程度の間隔で穴をあけ、そこに毛糸をとおして結ぶ。 - 穴あけと毛糸をとおすのは、自然物等を接着する前にやる。このとき長さの調整もする。 - 幼児の場合、穴あけは大人がやってもよい。 ③ 選んだ材料を仮に紙皿に並べてみる。 【まだボンドをつけない】 - 毛糸をとおしたところが上・中心になることに留意して材料を並べる。 - このとき折り紙、毛糸等を装飾に使ってみるのもよい。ただし、カラーボール、スパンコールは10個程度とする。 - 小さな材料はピンセットを使うと、扱いやすい場合がある。 ④ 使う自然物等の種類や配置が決まったら、木工用ボンドで固定していく。 - 毛糸をとおしたところが上・中心になることに留意して材料を貼り付ける。 ⑤ 完成。	 ①  ② 折り曲げてあるふちを伸ばしてパンチに差し込みます。 内側 外側  ③ 中心 毛糸を通した所と中心がズレている。  ④  ⑤
まとめ	- 感想発表や友達の作品の鑑賞 - 用具の返却と後片づけ	

6 安全に実施するためのポイント

- ハサミを扱うときは、刃で指や手を傷つけないように十分気をつける。
- 用具を散乱させておかないように注意する。